

国立大学法人 長岡技術科学大学

平成23年度第7回(第45回) 経営協議会議事要旨

日 時	平成24年3月9日(金) 13時30分～15時10分
場 所	八重洲富士屋ホテル「赤松」
出席者	新原議長、東委員、江口委員、木谷委員、河野委員、齋藤(彬夫)委員、山崎委員、宮下委員、武藤委員、高田委員、宮崎委員、三上委員、中村委員、齋藤(秀俊)委員 (議事の表決の委任による出席者：池田委員、神野委員)
陪席者	小松附属図書館長
事務局	総務部長、総務課長、広報室長、財務課長、財務課副課長、財務課予算係長、財務課予算係主任、総務課企画・評価係長、総務課総務係係長、総務係主任 以上 25名

議事に先立ち、第43回議事要旨(案)及び第44回議事要旨(案)(持ち回り開催)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

1. 平成24年度年度計画(案)について

武藤委員から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 産学融合トップランナー発掘・養成システムの中で「自主財源を活用し」とあるが、予算規模と期間を教えてください。
- 本プログラムは、平成19年度からスタートし、23年度で終了しますが、22年度に採用した3名と産休による延長により、平成26年度まで人件費と研究費の継続経費が必要となり、定着型事業としての1名の必要経費も含め、7,000万円程度を予定。JSTのプログラムへの申請も検討中。

2. 業務達成基準指定業務の翌年度への継続について

宮崎委員から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 平成22年度決算剰余金に係る目的積立金の使用計画について

宮崎委員から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 平成24年度予算(案)について

宮崎委員から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は、以下のとおり

- 人件費のありようについて考えていくと、今後、予算は変わってくるのではないかと思うし、厳しいという気がする。
- 今後、非常に厳しくなってくると考えており、予算面を含め将来像に関して本格的に考える時期に来ている。それが5年先、10年先ではなく、もっと近い時期であり、今いろんな対策を練りつつある。

報告事項

1. 平成24年度政府予算案の内示について

宮崎委員より、資料5に基づき、報告があった。

主な質疑応答は、以下のとおり

- グローバル人材、イノベーション人材育成をキーワードに中小企業・地域からのイノベーション、産学連携について、高専機構と技科大が人材育成で連携し、優位性をアピールできるのではないかと。
- ものづくりとグローバルが重要であり、大学のスタンスとして、中長期的な視点で日本のあるべき論からスタートして長岡技大がどうあるべきか、強化すべきところをしっかりと強化して、きちっとした指針で運営していただきたい。
- 貴重な意見をありがとうございます。

2. 職員給与等の改正について

宮崎委員より、資料6に基づき、報告があった。

3. その他

議長より、河野委員、齋藤委員及び丸山監事(陪席)が任期満了により、3月末で退任する旨の報告があった。

また、中村副学長が3月末で退職する旨の報告があり、中村委員から退任に当たっての挨拶があった。

以上